



運転手さん、みんなのために安全運転お願いしま〜す!!
～春の全国交通安全運動 街頭啓発運動より～

平成25年

5月号

広報 

No.228

いしし富士

ふるさと利尻富士町の
振興発展のために



平成25年度
町政執行方針

平成二十五年第一回利尻富士町議会定例会にあたり、新年度の町政執行に臨む私の所信と施策の概要を申し上げ、議員各位並びに町民皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、平成十三年に町民の皆様からの温かいご支援を賜りながら初当選し、二期目、三期目は無競争という栄を受けて、信頼と期待を担う町政の重大な責務を担いながら、町長就任以来今まで町民の皆様が将来に希望の持てるまちづくりのために全力を傾注して町政を推進してきたつもりでいます。

今年は三期目の総括の年にあたり、与えられた使命と責任の重大さを今一

度再認識し、長期計画である「ふるさと」の元氣と輝きをもとめて」の目的達成のため全力を傾注する覚悟でありますので、これまでと変わらぬ叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

さて、日本経済は、円安・株価高が一段と進んだことや、新政権の政策への期待感から消費、生産、雇用等において持ち直しの兆候が見られるものの、依然として景気の低迷から脱出できない厳しい状況が続いております。また国内では、少子高齢化の進展、労働力の確保、社会保障と税のあり方など、人口減少がもたらす様々な課題も直視しなければなりません。一方、離島住民にとっては、離島振興法の改正延長が実現し、基本理念や国の責務の新設、離島活性化交付金の創設など拡充強化が図られたことは明るいニュースとなつています。このように、あらゆる分野で歴史的な転換期を迎えておりますが、地方自治体もその変化を的確に捉えた行政運営・行政経営が求められており、どのような状況にあつても町民の皆様が笑顔を絶やさず、人と人とが支え合うことができる地域社会の連帯と相互扶助を念頭に置きながら、元氣

あふれるまちづくりを推進してまいり所存であります。

以下、平成二十五年度の主要な施策については、「利尻富士町新まちづくり総合計画」の基本目標に従い申し述べます。

「平成二十五年度町政執行の目標」

- 1 豊かな自然と共生し
活力ある産業を育てるまち
- 2 温もりと思いやりのある
保健福祉のまち
- 3 安全で安心して暮らせる
快適な生活環境のまち
- 4 明日を担う心豊かな
人づくりと文化を育むまち
- 5 住民参加と協働による
健全な行政運営のまち

以下、具体的な施策について項目ごとに申し上げます。

一・豊かな自然と共生し
活力ある産業を育てるまち

水産業について

● 昨年の利尻漁協における町内の漁業生産額は十六億六千七百四十一万七千円となりました。その内容は豊漁であった天然昆布を始め、特採枠が拡大さ

れたサケ、そして、ホッケ、ノナ、養殖昆布が増産となったものの、単価安などから大幅な減産となったナマコ、カレイ、ウニなどが減産、さらに秋には時化続きで出漁日数が制限されるなどの条件が重なり、一昨年比で九八・四%の実績となりました。その中で漁業者皆様には大変なご苦労とご努力によって一昨年並の漁獲高になったことについては関係者の皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、今年は仄聞するところによると、昨年の高水温の影響から天然・養殖とも昆布が減産になることが予想され、自然環境の影響に左右される部分もありますが、漁業者が取り組んでいるナマコの増殖やノナの移殖などの努力が報われることを祈りながら、漁協が漁業者のために積極的な対策を講じて頂くことに期待するとともに、行政も含めて共に考え、共に行動できることを目標に関係者が一丸となった取り組みを推進してまいります。

● 担い手対策である漁業後継者は、本年は鬼脇地区三名、駕泊地区一名の担い手確保が予定されており、このうち二名は漁業体験研修「漁師道」の研修修了者であり、これまで取り組んできた成果が出てきているものと思っております。特に、本年も鬼脇地区で研修生一名の受け入れ漁家があり、行政を始め関係者の皆様方と連携を密にして受け入れ態勢の充実を積極的に進めます。

●漁業振興施設に関する取り組みは、駕泊地区で実施する昆布養殖施設に対して助成措置を講じ、新たに着業する昆布養殖漁業者を支援します。漁場開発では、道の事業主体で二石地区で四年間で囲い礁一万㎡が造成される計画で本年度から着工することになっていきます。船揚場については、自治会から要望のあった沼浦船揚場の改良を行い、老朽化に対応します。

●漁港関係では、雄忠志内漁港は現在進められている外防波堤工事が継続実施され、本泊漁港は老朽化施設の機能保全事業計画を策定し、国の認可に向けた作業が行われる予定です。海岸整備では鯉泊海岸局部改良事業が継続実施されます。

●港湾整備では、駕泊港のマイナス六〇m岸壁整備が継続実施され、二十五年度中の完成を目指すほか、東防波護岸の改良工事が本年より再開される予定になっています。

●現在建設中の新フェリーターミナルは二十五年度中の完成を目指して順調に工事が進められており、今年度は駐車場の整備を実施しながら、利用者の利便性・快適性の確保や情報発信機能の充実を図ります。さらに、港湾機能を地域活性化に資するため、駕泊港エリアを「みなとオアシス」や「海の駅」としての登録を目指して関係機関と調整を進めており、港から賑わいを創出するため、行政と町民が一体となった

体制整備が必須であり、今後は協議会等を設立して意見交換を行いながら運営強化を図ります。

観光について

●観光客の入込数は十五年度の二十七万五百人をピークに十年間減少し続け、二十四年度は一昨年より東日本大震災の影響が緩和されて少しでも増加傾向になればとの願いもむなしく、上期の入込数は十三万二千六百人ととなり、前年の同期対比では九百人減の九九・三%となりました。一方、宿泊客は四千人増の五万三千四百人ととなっている状況を見れば、震災の影響から回復傾向にあると思われれます。これも観光協会を始めとする観光関係者の努力や宗谷管内などの広域で観光振興策に取り組んできた成果ではないかと推測しています。

●昨年十一月三日から映画「北のカナリアたち」が全国の映画館で放映されたほか、家庭画報、山と溪谷などでも大きく取り上げられ、これらを見た多くの方々が尻尻・礼文に訪れて頂けることに大きな期待をしているところがあります。すでに、観光協会や宗谷管内の関係団体等が連携して旅行代理店へのプロモーションを行うなど、観光客誘致に向けて活動を展開しておりますが、本年も関係機関と連携しながらPR活動や販売の促進、モニターツアーなどを実施してまいります。また、

本町のロケ地においても、所有者や関係住民の理解を得ながら撮影地に案内板を設置し、訪れた方々がロケ地であることが判断できるよう配慮します。



昨年11月に行われた映画「北のカナリアたち」町民無料上映会の様子

●尻尻空港の関係では、昨年の利用率向上のためANAとタイアップ事業として町内二泊の「観光客誘致キャンペーン事業」を道の補助を得て実施した結果、九月の集客は八百七十一名、延べ千七百四十二人となり、宿泊関係者土産取扱店、食堂等への経済効果、そして搭乗率も対前年度比で約十九%アップとなつて有効な施策であったと考えています。この結果を踏まえてANAは今年も九月便を継続する旨の内定があったことから、本年も観光協会に対する補助を継続いたします。

「温もり」と思いやりのある 保健福祉のまち

町民の皆様が、笑顔の中で元気に生活するためには、保健・医療・福祉が一体となつた取組みが求められています。今年度も社会福祉関係団体や地域住民、自治会等と一体となつて「温もり」と思いやりのある保健福祉のまちを目指して積極的に対応してまいります。

以下、主な施策を申し上げます。

保健・医療関係について

●保健関係では、住民健診は町民の健康管理のための受診体制は整えているものの、目標とする受診率までには至っていないのが現状です。このため各地区保健福祉推進員の協力を得ながら、受診勧奨の強化と健康教育、健康相談、訪問事業を徹底し、町民一人ひとりが健康を実感できる体制の充実を図ります。昨年まで実施してきた子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌のワクチン接種は二十五年度以降は定期接種化することに予防接種法が改正されます。これらを含めて各種がん検診や予防接種、乳幼児健診を実施するほか、乳幼児医療費の助成と育児支援、妊産婦検診支援、更には70歳以上の高齢者用肺炎球菌ワクチン接種の一部助成を実施、重症化の予防に努めます。

●医療体制については、一次医療を担っている篤泊診療所、道立鬼脇診療所と連携を図りながら、町民から安心と信頼を得ることができると診療体制を充実させ、疾病の予防、早期発見に対処できるような保健、医療サービスの向上に努めます。

地域福祉関係について

●地域福祉では、地域の方々が無事な生活を送ることができるよう保健福祉推進員・社会福祉協議会とも連携を密にしなが生活支援・相談体制を充実させるほか、ひとり親家庭等医療給付事業や低所得者層を対象とした燃料購入扶助事業を継続実施します。

高齢者福祉について

●高齢者福祉では、近年の急激な高齢化の進展に伴い、これまで家庭や地域で担ってきた日常生活の生活支援や介護のあり方を見直しながら、保健福祉センターや地域包括支援センターが実施している介護予防支援事業のほか、高齢者等要介護者のデータを基に見守りファイルの整備を図りながら関係機関との連携強化や情報の共有に努め、地域の見守りを強化して支援活動を積極的に推進します。また、高齢者の独居世帯・夫婦世帯及び障がい者や認知症高齢者の増加に対応すべく、在宅介護や福祉施設等における介護サービスを安定的に提供できるよう、新たに介

護職員初任者資格（これまではホームヘルパー二級資格）取得のための「介護職員研修養成事業」を実施いたします。

●介護サービス施設においては、入所者、利用者が適切なケアプランのもと、職員の資質向上とコミュニケーション能力を高め、チームワークによる質の高いサービスを提供できるよう指導徹底を図ります。

障がい者福祉施策について

●障がい者福祉では、昨年「地域社会における共生の実現に向けて新たな障害者保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律」が公布されました。この法律の施行に伴い本年（二〇二六年）から「障害者自立支援法」が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」に改正され、障がい者の適用範囲が拡大されるほか、障がい福祉サービス等の充実が図られますので、改正新法に基づいた障がい者福祉施策を講じて参ります。

児童福祉・少子化対策について

●児童福祉では、今年度は九十一名が篤泊・鬼脇保育所に通所する予定です。多様化する保育ニーズに対応するため、保育環境の整備と保育体制の充実を図ります。また、保育料についてはこれまでの方針に従い改正条例案を提出し

ていますが、所得税・個人住民税の扶養控除の税制改正に伴う保育料への適用については、昨年同様に扶養控除の影響を生じさせないよう措置いたします。

●高齢化・少子化対策で実施している妊産婦の出産支援と検診・分娩に係るフェリー料金等については、改正離島振興法でも措置される部分があると思っておりますが、内容的にはこれまで同様の交通費の全額助成と宿泊費の一部助成を継続するほか、高齢者に対する敬老バスも昨年同様の内容で実施します。



鬼脇保育所入所式の様子

各保険制度について

●国民健康保険では、近年の高齢化の

著しい進行と医療ニーズの高度化等により医療費は年々増加傾向にある中で、保険制度を支える被保険者は低所得者や高齢者であり、その構造的な問題は国保財政を一段と厳しくするものとなっております。このため国保税は所得が確定した後に賦課することから、第二回定例町議会で審議頂くことになりましたが、昨年も改正条例で説明しているように不足額の全額を賦課徴収することなく、積立金や一般会計からの繰出金も考慮しながら住民の負担軽減を図ります。

生活、環境整備について

●環境衛生関係では、篤泊葬苑の火葬炉補修のほか、二十年経過したし尿収集車を更新し、生活環境の保全と公衆衛生の向上に万全を期してまいります。

三、安全で安心して暮らせる 快適な生活環境のまち

道路・市街地整備関係について

●道路関係の「稚内建設管理部」所管の篤泊市街地整備では、国の補正予算や二十五年度の通常予算で昨年を大幅に上回る予算が確保される見込みです。その工事内容は、BOXカルバート、港町二八〇m区間の道路工等を施工するほか、本町・港町地区の物件移転補償、埋設水道管・下水道管の移設補償

等を実施するほか、鯉泊地区では用地買収や補償等、雄忠志内地区では用地買収と暫定工事、旭浜地区では用地測量を実施することになっていきます。

●道路・橋梁関係の町で実施する事業は、富士野地区取付道路、各町道の維持補修・側溝改良を実施、鴛泊市街地街道道拡幅工事と並行して鴛泊市街地街なみ整備方針策定業務委託、期成会・まちづくり協議会からの要望意見を踏まえての整備方針と事業要求資料の作成のほか、橋梁長寿命化計画策定や各橋梁の補修等を実施します。

治山・治水・砂防関係について

●治山・治水・砂防関係では、町事業は、湾内地区の小規模治山事業に着手します。また、森林管理署関係ではヤマナイ沢に溪間工の設置が予定されているほか、総合振興局では、昨年に引き続き滝の沢川に床固工を設置、稚内建設管理部では雄忠志内川で砂防堰堤改良、豊漁沢川では堤体の嵩上げを実施する予定となっております。地域の安全・安心が確保されるものと期待しています。

町営住宅について

●住宅関係では、本年度から町営住宅の耐震化と長寿命化を目的として計画的に改良を進めていく予定であり、今年度は富士野団地一棟四戸の改良工事を実施して快適な生活の確保を図ります。

利尻空港路線について

●航空路線は、離島住民の生活、医療、観光、経済の活性化に必要不可欠な生活路線であります。このため、利尻―丘珠線の通年運航の維持・存続を図るため、北海道エアシステム（HAC）に対して道と協調して欠損補助を実施するとともに、昨年十月から国土交通省で離島住民割引運賃助成を制度化して頂きましたので、国の制度に上乗せしながら住民負担の軽減と搭乗率の向上を目指します。また、昨年から季節運行となっている全日空（ANA）は六月から九月までの四カ月間、利尻―千歳線が運航される予定です。

防災・交通安全対策について

●防災・消防・交通安全対策では、一昨年の東日本大震災は、私達に消し難い大きな傷跡とともに多くの教訓を残しました。幸い本町は災害の少ない町といえども、改めて周辺に目を向けると北海道北西沖海底には、海溝型地震が発生し得るプレート境界の存在が指摘されています。専門機関の調査でこのプレート変動により地震の発生する確立は極めて低い数値となっているもののゼロではありません。有事に備え国や道、近隣自治体などの連携も必要であり、最も重要なのは「地域防災力の強化」だと考えます。自助・共助が求められている今だからこそ、自

主防災組織の結成・育成を支援しながら地域防災力の向上を図るため、地域防災計画の適切な見直しと推進に努めるとともに、津波避難計画策定を急ぎます。また、昨年新たに総務課職員に防災主査を発令し、各自治会毎に「防災に関する意見交換会」を開催しました。避難場所、避難経路など各地域が抱える問題などが提起されましたが、避難場所等を確保するためには施設管理者や土地所有者の許可が必要な事業もあり、課題を整理しながら早急に年次整備計画を樹立し、緊急性の高い施策は国の防災・減災事業等、諸制度の動向を見極めながら今年度の補正予算で措置したいと考えています。



平成24年度防災訓練の様子

●消防救急無線は二十八年五月までデジタル無線への移行が決定していることから、本年は消防無線デジタル化実施設計委託料と併せて経年化した指揮広報車の購入費を消防事務組合負担金に含め計上しています。一方、救急業務については、救急隊員の専門的知識や技術習得が必須なことから消防職員に救急救命士養成課程を受講させ、救急救命士を七人体制として救急業務体制の充実を図り、救命率の向上を目指します。

●昨年六月十四日未明、悲しい交通事故が発生しました。三月十一日現在の事故死ゼロの日数は二七〇日となっており、この記録を永久に継続できるように交通安全運動を積極的に展開し、町民一人ひとりの交通安全意識を高めながら交通事故防止に努めてまいります。

四. 明日をになう心豊かな人づくりと文化を育むまち

※教育行政施設方針参照

五. 住民参加と協働による健全な行政運営のまち

町民との協働関係について

●住民参加のまちづくりを進めるためには、町民と行政が深い信頼のもと、お互いに助け合いながらまちづくりを進めることが肝要であります。そのため、IP告知端末機の利活用や広報紙、ホームページの充実を図り情報の公開と共有に努めるとともに、まちづくりの中核的役割を果たしている自治会や各種団体の活動を引き続き支援してま

いります。また、地域での課題や多様化する町民ニーズに対応するため、地域懇談会や新春座談会などの場で行政の課題・問題を詳細に説明して住民の理解を得ながら、地域の方々からの意見・提案などを積極的に施策に反映させ、町民から信頼を得ることができ開かれた効率的な行政運営と協働の取り組みを進めます。

平成二十五年財政運営について

●本町の財政状況は、議会や町民の皆様方の行政改革に対するご理解とご協力のもと着実に行政改革が進められており、一般会計、各特別会計ともここ数年間は黒字決算を維持しており、皆様も心配している財政健全化法に基づく四つの指標はすべて国の基準をクリアしています。

●二十五年年度の予算は自主財源の軸である町民税や財源の依存度が高い地方交付税の減額が予想される厳しい状況の中で、限られた財源の重点的・効率的な配分に留意し、地域の皆様の安心・安全な暮らしを守ることを念頭に予算編成を行ったところであります。

●一般会計の建設事業費は、道道拡幅事業移転補償費を含めて七億六千六百三十万七千円、特別会計ではフェリーターミナル建設事業費など六億七千八百八十八万八千円、合わせて十三億七千三百三十九万五千円（前年度対比二三・四％増）を確保しているほか、駕泊中学校

平成25年度 建設事業一覧表

【一般会計】

単位：千円

事業名	事業費
財務会計システム購入	22,000
地理情報システム整備業務委託	3,500
土地購入	2,000
電子申告システム購入	2,258
総合行政システム購入	7,849
選挙ポスター掲示場設置工事	496
選挙ポスター掲示場設置工事	735
計	38,838
保育所改修工事	5,300
計	5,300
駕泊火葬場火葬炉補修工事	2,132
車両購入費	102
計	2,234
小規模治山事業	13,500
離島漁業再生支援交付金	47,816
漁業振興施設整備事業補助金	4,850
沼浦船揚場整備工事	3,000
水産環境整備事業負担金	2,900
計	72,066
観光看板設置工事	1,000
計	1,000
町道改良工事	1,000
町道補修工事	5,500
町道側溝改修工事	3,200
橋梁長寿命化計画策定業務委託	2,300
駕泊港整備事業負担金	112,800
利尻富士利尻線交付金工事用地取得事業	469,784
駕泊市街地街並み整備方針策定業務委託	5,000
街路灯整備工事	1,000
ファミリーキャンプ場維持補修設計業務委託	2,600
公営住宅個別改善工事	15,000
飛行場標識施設補修工事	1,953
飛行場性状調査及び障害物件調査委託	4,904
計	625,041
光ケーブル移設工事	2,000
新規加入者増設工事	1,000
計	3,000
利尻小学校耐力度調査委託	4,500
鬼脇中学校耐力度調査委託	4,500
小中併置校概要設計作成委託	4,600
翔武館改修工事	3,370
総合体育館サッシ取替工事	934
総合体育館電気設備取替工事	924
計	18,828
合 計	766,307

大規模改造や教員住宅整備などの事業が国の補正予算で内々定の通知を受け、二十五年年度に繰越実施する予定事業もあり、これらの事業費をもって町内の雇用対策、景気対策を講じようとするものでありますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

その結果、一般会計歳入歳出予算の規模は三十九億二千六百万円とし、対前年度比で四千七百万円、率で一・二％の減額予算となっております。一方、特別会計では簡易水道事業特別会計ほか九会計で総額二十二億九千五百二十

五万一千円で十三・五％の増額予算となり、一般会計、特別会計を併せた総額では六十二億二千二百二十五万一千円となり、前年度対比では三・八％の増額予算となりました。

以上、平成二十五年年度の町政執行に臨むにあたり、私の所信の一端と主要な施策を申し述べましたが、人は、過去を振り返りつつ、今を見つめ、明日を考えながら生きています。「明日」という日は、「今」の積み重ねの中で繋がっていくものであり、「明日」を考え

ることは、「今」を真剣に生きていくしかありません。「今」を大切にし、その中で見えてくることを行動に起こし、積極的に取組んでいくことにより、未来が開けてくるものだと考えます。私も、「今」を大事にして「ふるさと利尻富士町の振興発展」のために町民皆様方の知恵と勇気、そしてお力添えを頂きながら誠心誠意努力を傾注する所存でありますので、町議会議員を始め町民各位の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、平成二十五年年度の町政執行方針とさせていただきます。

平成25年度

教育行政執行方針



平成二十五年第一回利尻富士町議会定例会の開会にあたり、教育行政の執行に関する方針を申し上げ、町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今日の社会情勢は、人口の減少や少子高齢化、グローバル化、産業構造の変化や景気の低迷、加えて東日本大震災からの復旧・復興など解決すべき課題が山積しております。そうした中で、教育には、困難に立ち向かい、新しい時代を切り拓くことのできる「強い人材」の育成が求められており、子どもたち一人ひとりに「生きる力」をしっかりと身につけさせることが重要となっております。

昨年は、ロンドンオリンピックで日本人選手が三十八個のメダルを獲得する快挙を成し遂げ、山中伸弥・京都大学教授はノーベル医学・生理学賞を

「iPS細胞」研究で受賞し、日本の基礎科学の底力を世界に示されました。こうした話題に心躍らせる子どもたちが、夢や希望を育み、それを開花させ、一人ひとりとつとての金メダル、あるいはノーベル賞を手にすることができるよう、教育の一層の充実・発展に取り組んでまいります。

教育委員会といたしましては、利尻富士町の活力や発展の基盤となる「人づくり」、「生涯学習社会の充実」をめざして、関係機関等と連携し、教育行政を推進してまいります。

一・学校教育の推進について

小中学校で完全実施となりました新学習指導要領の趣旨を十分に踏まえ、ふるさと教育、国際理解教育、情報教育、環境教育など社会の変化に柔軟に対応できる児童生徒を育成する教育を推進するとともに、児童生徒及び保護者の期待に応える魅力ある学校づくりを図ってまいります。

(一) 確かな学力の向上を図る

教育の推進

「確かな学力」の育成には、子どもたち一人ひとりが主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得とその活用を通じて、思考力、判断力、表現力等をバランスよく伸ばしていくことが重要であります。児童生徒の学力や学習状況の実態を的確に把握し、指導の改善を図りながら「確かな学力」の向上を推進してまいります。

●各教科の指導にあたっては、少人数指導やチーム・ティーチングなどの学習形態の工夫、長期休業での補充的学習の工夫など、きめ細かな指導の充実を図ります。

●今年度も「全国学力・学習状況調査」に全小中学校が参加し、結果における成果と課題を分析しながら、分かる授業づくりに向けた教育指導や学習状況の改善に役立てます。

●情報教育につきましては、教育用及び教師用コンピュータなどを有効的に活用した多様な学習を推進し、情報を正しく利用するモラルやマナーの育成など総合的な情報教育に取り組みます。

●外国語を通じて、諸外国の歴史や文化に対する理解を深め、小学校高学年の外国語活動や中学校の英語学習指導の充実を図り、コミュニケーション能力の向上に努めます。

●地域の特色を生かした職場体験活動

や施設見学などを実践し、将来の夢や目的意識を育成するための、キャリア教育を推進します。

●昨年度から、中学校一～二年の体育授業で日本古来の武道が必修科目に加えられたため、当町では柔道を選択してはいますが、事故や怪我のないよう安全指導に取り組みます。

●特別支援教育につきましては、篤泊小学校二学級、利尻小学校二学級の設置となりますが、特別支援学級補助員を引き続き配置するなど、児童一人ひとりの状態に応じた適切な指導や支援に努めます。

●小学校三～四学年の社会科や総合学習において使用している社会科副読本が発刊されて10年を迎えることから、利尻富士町の生い立ちや歴史など新たな情報を更新して再発刊します。

●今年度で、利尻富士町学校教育推進計画の期限が切れることから、これまでの利尻富士町の教育の成果と課題を踏まえながら、新学習指導要領等に対応する平成二十六年年度から平成三十一年度までの新たな学校教育推進計画を策定します。



体育授業「柔道」の様子

(一) 豊かな心を育む教育の推進

児童生徒に、自他の生命や人権を尊重する心、思いやりの心、規範意識や公聴心、自然を愛する心など、豊かな心を育む教育の推進に努めてまいります。

●子どもたちが、道徳的価値を自覚し自己の生き方についての考えを深めつつ、道徳的実践力を身につけていけるよう、「道徳の時間」の充実を図りながら、ボランティア活動や自然体験活動を通して子どもたちの道徳性を養います。

●確かな学力や豊かな心の育成につながる読書活動の推進に向けて、朝読書や読み聞かせなど読書習慣を定着させる取り組みを進めるとともに、学校図書の実用を図ります。

●子どもたちの情操を育む読書感想文コンクールや作品展を継続しながら、学校教育活動全体を通じて利尻島ならではの豊かな自然環境を活用した特色ある教育活動を推進します。

●児童生徒の体力や運動能力の低下が指摘され、スポーツに親しむ習慣や意欲などを育成することが求められています。生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための基礎を培う体育授業の充実や、運動部活動・少年団活動の支援に努めます。

●疾病の予防や早期発見のための各種検診や保健指導を充実させ、関係機関と連携を図りながら万全を期すとともに、子どもたちが自分自身の健康管理が

できるよう食育の充実に取り組みます。

●経済的な理由により学校生活に支障を来すことのないよう、児童生徒の保護者に対し学用品や給食費などの就学援助を継続して行うほか、高校生や大学生には奨学金を貸与し経済的負担を軽減して幅広く有能な人材の育成を図ります。

(三) 信頼される学校づくりの推進

学校、家庭、地域社会それぞれが連携して子どもたちを健やかに育むことが重要であり、学校の教育活動や学校運営の状況を積極的に保護者や地域に情報提供するなど、開かれた学校づくりに努めてまいります。

●学校便り等を活かした情報の発信や学校行事の積極的な公開に取り組みとともに、学校評議員制度を活用した学校評価の充実を図り、その結果を学校運営の改善に生かします。

●新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の展開など、教職員の指導力の向上に向けた町内における研究・研修体制を支援するとともに、地域の人材を活用した「学校支援地域本部」との連携を図ります。

●校長を中心に組織的な連携のもと、教職員としての資質・能力を研鑽し、自らの役割をきちんと果たすことが重要であります。専門職としての知識や能力を最大限に生かすことができるような環境づくりを推進します。

●教職員の心身の健康の保持増進は、個人の健康問題にとどまらず、学校の教育活動を円滑に進める観点からも重要な課題であるため、各種健康診断の実施など健康管理対策の充実を図ります。

(四) 安全で快適な教育環境の充実

先の震災以来、防災教育の重要性が叫ばれておりますので、火災や地震を想定した避難訓練や普通救命講習を実施し、児童生徒に高い防災意識を持たせるよう努めてまいります。又、交通事故についての安全教育と不審者や変質者から身を守るための指導と対策が極めて重要でありますので、学校施設の整備・充実を図るとともに安全性の確保に鋭意努めてまいります。

●各学校においては「事件・事故はいつでもどこでも起こりうる」との認識のもとに、地域や関係機関と連携して子どもたちの安全を守るため、学校安全計画や危機管理マニュアルの充実を図り「安全・安心」の学校づくりに努めます。

●不審者等による事件・事故などから、児童生徒が自ら身を守ることができるよう、安全教育の指導や登下校時の交通安全指導の徹底を図ります。

●いじめや不登校については、その要因や実態がますます多様化・複雑化し社会問題となつていますが、「どの学校でも、どの子にも起こりうる」問題であることを十分認識し、いじめの早

期発見、早期対応を心がけるとともに、「いじめは人間として絶対に許されない」との認識に立った指導の徹底に努め、学校・家庭・地域が一体となっていじめ根絶に向けた取り組みを推進いたします。

●鬼脇地区小中併置校の建設につきましては、各学校の実状や地域の意見等も考慮しながら町長部局とも協議を重ね、今年度中に建設目標年度を定めたいと考えています。又、本事業着手に必要となる補助事業の採択条件に対応するため、利尻小学校・鬼脇中学校校舎の耐力度調査と概要設計作成委託料を予算計上しています。

●学校の施設整備については、快適で安全な教育環境の充実と学習意欲の向上を図るため、引き続き、各学校施設及び教職員住宅の整備を推進するとともに教材教具の充実を図ります。

二・ 社会教育の推進について

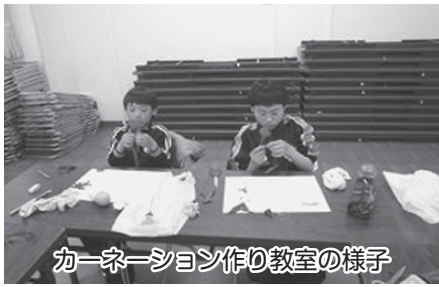
社会教育は、今日の暮らしにおいて人々に心の豊かさや生きがいをもたらすとともに、人と人の絆を強くし、活力ある地域の育成に大きな役割を果たすものと思えます。また、子どもたちの育成においては、学校教育だけでなく家庭・地域の教育力が求められている環境を整えるとともに町民の皆様が進んで参加できる活動を推進してまいります。

(一) 生涯学習の推進

趣味や教養、芸術文化、スポーツ、ボランティア活動など多様な学習機会を通じて、子どもから大人まで人と人がふれあい、町民一人ひとりが生きがいをもって生活できるように、関係団体と連携を図りながら生涯学習を推進します。

●公民館等社会教育施設の活用については、地域に密着した利用しやすい施設運営に努めるとともに、心の豊かさを実感できる事業を展開します。

●母への感謝と思いやりの心を育む「母の日に贈るカーネーション作り教室」ものづくりの過程を学び完成の達成感を育む「注連飾り作り教室」、日本の伝統文化にふれあう「かるた（百人一首）教室」、そばの魅力を知る「そば作り教室」、親子の絆を育む「ブックスタート事業」、図書ボランティアによる「読み聞かせ活動」などを継続して開催します。



カーネーション作り教室の様子

(二) 青少年の健全育成

核家族化、少子高齢化の進む中、子どもたちの耐える力や自己制御力、他人を思いやる心が薄らいできている状

況にあります。

青少年が個性や能力を伸ばし豊かな人間性や社会性などを兼ね備え、心身ともにたくましく育つためには学校・家庭・地域が一体となり、青少年の成長を支え守り育てていくことが大切です。

●利尻富士町青少年健全育成町民会議との連携強化を図りながら、地域住民ボランティアの知識や技術経験を子どもたちの教育に活かす「学校支援地域本部事業」を展開します。

●長期休業時に子どもたちが安全で安心して過ごせる活動拠点づくりとして「夏休みチャレンジ教室」、「冬休みチャレンジ教室」を継続して開催します。

●地域リーダーを担う子どもたちを育成するため、北海道ジュニアセミナー事業への参加を継続するほか、利尻三町児童交流事業などの機会を通して児童生徒や異世代との交流を進めます。

●月曜日から金曜日の平日放課後の子どもたちの安全・安心な活動拠点づくりとして、宿題支援やスポーツ活動などを提供する「放課後子ども教室」の開催を鬼脇・駕泊両地区で継続します。

●学校教育とは違う環境の中で、子どもたちの成長を育む、水泳教室・書道教室・カルタ教室・サッカー教室・バトミントン教室などの「週末教室」を通年実施します。

(三) 文化・芸術活動の推進

芸術・文化に接することで、心の豊かさを育み、感動や生きる喜びなど、人生を送る上での大きな力となり地域活性化の基盤となるものと考えます。多くの町民が芸術文化活動に積極的に参加できるよう町内文化団体と連携・協力しながら活動支援に取り組みます。

また、本町の歴史や伝統を伝える様々な文化財を保護するとともに情報の発信に努めます。

●利尻富士町文化協会に対する助成を継続するとともに、生の芸術に直接触れることのできる巡回小劇場の開催や、劇団四季の利尻公演など、心の豊かさと情操を高める活動を展開します。

●南浜獅子神楽の保存伝承を継続し、保存会の方々の協力を得ながら町内小中学生による活動を推進します。

●りっぴ館での各種展示活動や「知の拠点づくり」事業を一層充実します。

●町内外に埋もれている郷土資料の収集、調査を継続して行うとともに、学芸員による出前講座など各種事業の推進について町広報紙、文化財だより「ボンモシリ」などにより町民への周知に努めます。

(四) 健康づくり・スポーツ活動の推進

スポーツは、心身の健全な発達や健康及び体力の保持増進、精神的な充足感を得るとともに、生涯にわたり心身

ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものとなっています。

町民の健康志向の高まりや余暇の増大に伴うスポーツの重要性が益々高まってきておりますので、町民だれもが、それぞれの体力や年齢、目的に応じて、いつでも、どこでも気軽にスポーツに親しむことができる環境整備を図ってまいります。

●総合型地域スポーツクラブ「利尻富士RIPS」や体育協会などスポーツ振興に取り組み団体との連携強化を図り、各種スポーツ大会やイベントを積極的に支援します。

●スポーツ活動の拠点となる総合体育館やパークゴルフ場などの体育施設は重要なポイントであり、今後も適切に維持補修を行い効率的な施設運営に努めます。

以上、平成二十五年度の利尻富士町教育行政の執行方針について申し述べました。

その執行にあたっては、学校・家庭・地域関係団体と連携を図りながら、未来の担い手である子どもたちをしっかりと守り育てること、「すべては子どもたち一人ひとりのために」との思いを胸に、全力で取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

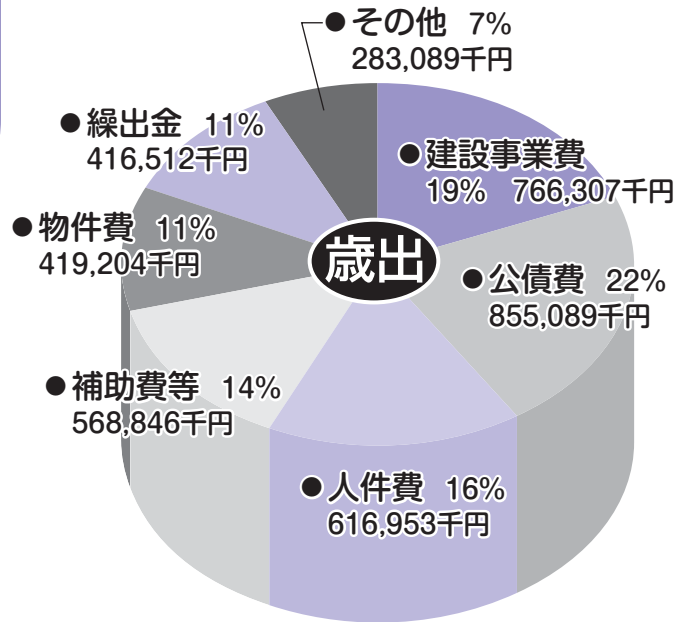
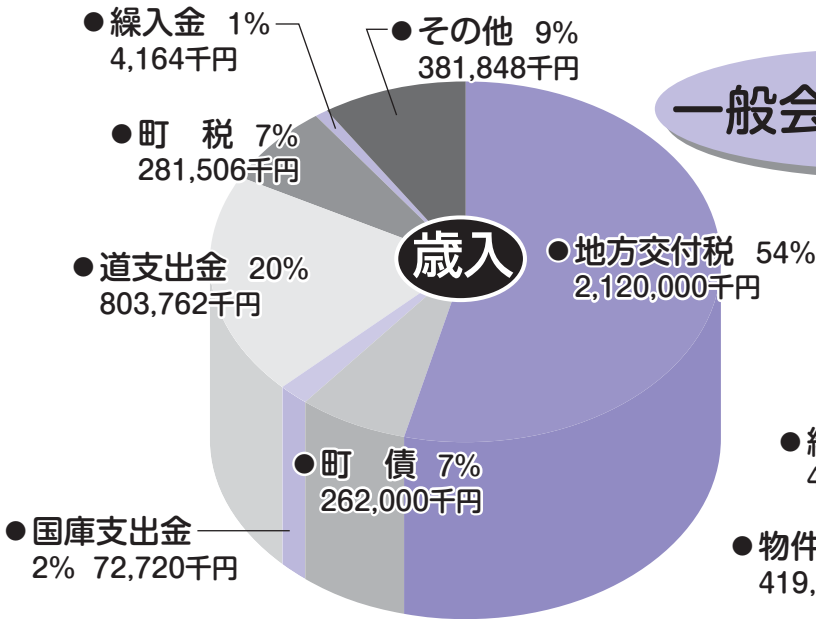
一般会計の歳入・歳出予算額は…

39億2,600万円

平成25年度の当初予算額は、前年度比1.2%の減となっております。特別会計の合計22億9,525万円と合わせた町の予算総額は62億2,125万円で、平成24年度当初予算と比較すると、約3.8%（2億2,580万円）の増額となります。

平成二十五年度の
予算概要
をお知らせします。

一般会計予算は？



特別会計予算は

単位：千円

	平成25年度	平成24年度	比較
簡易水道事業特別会計	83,405	100,328	△ 16.9%
下水道事業特別会計	203,043	237,863	△ 14.6%
港湾整備事業特別会計	549,074	216,998	153.0%
温泉事業特別会計	70,818	64,506	9.8%
国保事業特別会計	453,452	468,471	△ 3.2%
後期高齢者医療特別会計	45,708	46,047	△ 0.7%
介護保険事業特別会計	305,779	316,652	△ 3.4%
介護サービス特別会計	450,290	456,553	△ 1.4%
歯科施設特別会計	54,738	40,505	35.1%
国保施設特別会計	78,944	74,530	5.9%
合計	2,295,251	2,022,453	13.5%

目的別歳出予算

単位：千円

科目	予算額
議会費	48,500
総務費	449,983
民生費	483,263
衛生費	314,370
労働費	132
農林水産業費	108,984
商工費	165,652
土木費	1,066,136
消防費	182,824
教育費	243,004
公債費	855,089
諸支出金	5,062
災害復旧費	1
予備費	3,000
合計	3,926,000

警察官ご紹介



鴛泊駐在所 所長
ちゅう しょう まさる
中 條 優 さん

4月の異動で江差警察署から鴛泊駐在所で勤務させて頂くことになりました。

これまでの勤務地は、札幌市、千葉県、小樽市、江差町であり、今回は利尻島での勤務を希望して転勤してきました。

利尻島の印象は、利尻山をはじめとした自然環境が素晴らしいことであり、利尻での勤務中に是非利尻山の登頂をしたいと思います。住民の皆様と共に「安全安心なまちづくり」を目指して努力していきたいと思いますので、家族共々よろしく申し上げます。

よろしくお願いします! 新採用職員紹介

- ①出身地
- ②配属先
- ③趣味・特技
- ④今後の抱負



かた やま しょう た
片山翔太さん

- ①利尻富士町
- ②利尻富士町役場総務課
- ③運動・釣り・ゲーム
- ④自分にできる限りのことをしながら、少しずつでも仕事を覚える事が出来たらいいなと思っています。採用1年目で皆さんにはご迷惑をかけてしまうことがあるかもしれませんが、精一杯がんばりますのでよろしく申し上げます。



き ない みず ほ
木内瑞穂さん

- ①釧路市
- ②利尻富士町役場福祉課
- ③編み物、絵を描くこと
- ④私は名寄の大学を卒業してから利尻に来て、3年目になります。これまで、利尻の冬を2回経験し、寒さや雪の多さに圧倒されました。今後は、多くの人の顔と名前を覚え、私のことも知ってもらえるようにたくさん地域に出たいと思います。みなさんどうぞよろしく申し上げます。



よし だ けん ごと
吉田賢五さん

- ①札幌市
- ②利尻富士町役場総務課
- ③バドミントン、映画鑑賞
- ④一人暮らしをしてみても今まで親に頼って生活していたという事を実感しました。仕事はわからない事ばかりで、職場のみなさんには助けてもらっています。一日でも早く仕事にも生活にも慣れ、町の職員としてそしてこれからは利尻島民としても頑張りたいと思います。みなさんよろしく申し上げます。

特集

HAC（北海道エアシステム） 離島割引の仕組みとは？

昨年の10月1日からHAC（北海道エアシステム）が運航する、利尻-丘珠間に「離島割引運賃」を設定され、沢山の町民の皆さんにご利用頂いておりますが、ご利用された方の中にも、安い料金で札幌に行けるけど、なぜだろうと疑問に感じている方も多いかと思っておりますので、今回はHACの離島割引の仕組みについて説明致します。

① どうしてHACの離島割引は始まったの？

HACの離島割引は、利尻島と北海道本土を結ぶ離島航空路線に、離島住民を対象とした運賃設定を行うことにより、島民利用の拡大から搭乗率の向上を図るために始まりました。

簡単に説明すると…

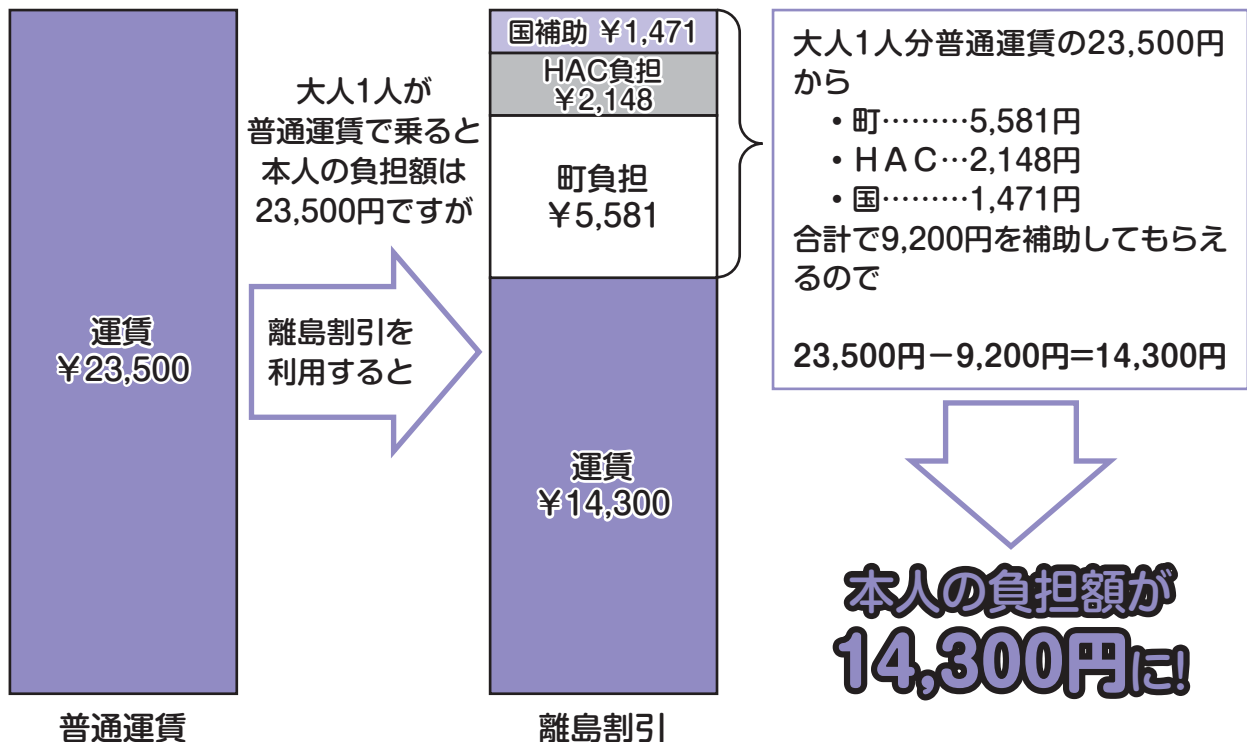
飛行機の運賃が高い → 他の交通機関を利用する → 飛行機の搭乗率が下がる

このままだと重要な離島の航空路線が維持できなくなる…ので

飛行機は便利で運賃も安い → 利尻空港から飛行機を利用する → 飛行機の搭乗率が上がる

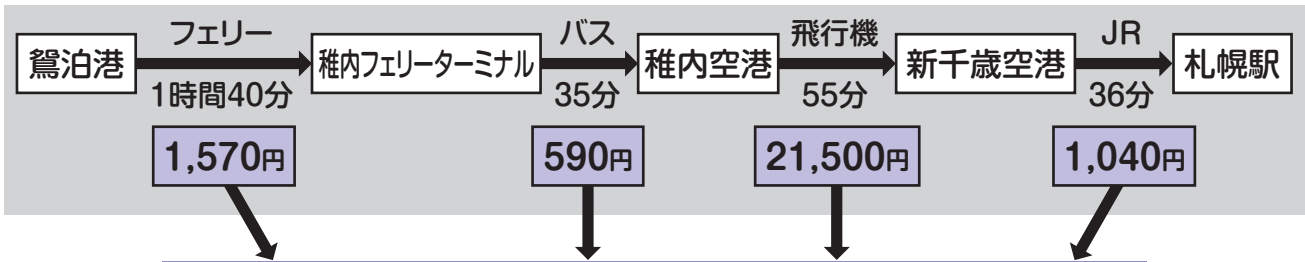
に変えようということでHACの離島割引が始まりました。

② なぜ14,300円で乗ることが出来るの？



③HAC以外の飛行機を利用した場合との違いは？

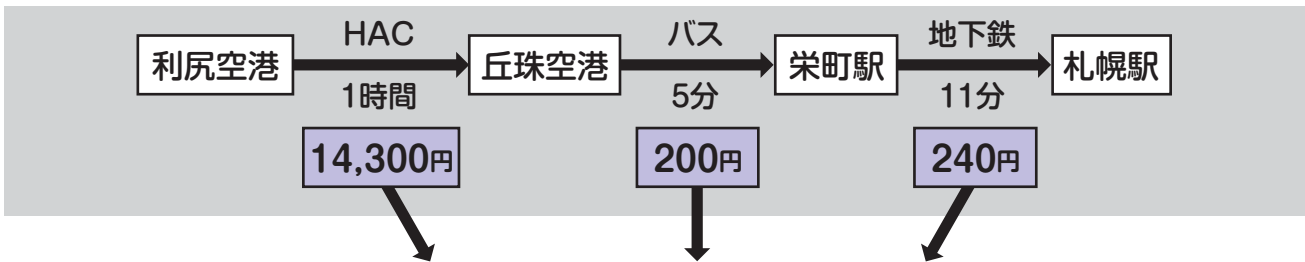
稚内からの飛行機（普通運賃）を利用して札幌駅へ向かう場合は…



料金は合計で 24,700円
 ※最安料金（飛行機を1ヶ月前に予約した場合）でも合計で15,900円

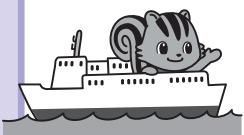
乗り物に乗っている時間は3時間46分
 待ち時間を含めると5時間以上…

ところが、HACの離島割引を利用して札幌駅に向かうと!



料金は合計で 14,740円
 ※離島割引を使えば、乗る日に予約しても飛行機代は14,300円

乗り物に乗っている時間は1時間16分!
待ち時間を含めても2時間以内!



※上記交通機関の運賃は時期によって変更となる場合がありますのでご注意願います。

(本人交付用) No. _____

離島航空路運賃割引証
 【北海道エアシステム (HAC) 用】

営業区画 (路線予定日)	<input type="checkbox"/> 利尻 - 丘珠間 (月 日)
	<input type="checkbox"/> 丘珠 - 利尻間 (月 日)
予約番号	
住所	利尻富士町 鴛泊 字 鬼船
氏名 及び年齢	年齢 (才)
平成 年 月 日 発行	
発行者	利尻富士町長 吉田 勤

(注)
 1 本券は利尻富士町住民に限り有効です。
 2 本券を他人に譲渡することはできません。
 3 本券の有効期限は、発行の日から3ヶ月間です。
 4 本券による割引いた運賃は国と町が補助します。
 5 本券は利尻空港及び丘珠空港でのみ取換します。

離島航空路運賃割引証の有効期限は発行日より3ヶ月となっておりますので、発行日を確認のうえ、3ヶ月を経過したものについては新たに交付を受けるか破棄して頂きますようお願いいたします。

また、割引証を持参せずに空港に来てしまうケースが多く見受けられます。割引証が無い場合は、「離島割引運賃」で予約をしていても、一時「普通運賃23,500円」で二重に航空券を購入して頂くだけではなく、返金を受けるために再び空港に行くことになってしまいますので、必ず割引証を空港に持参頂くようお願いします。

わがまち
タイムスりっぷ

連載③②

いつくしま
利尻の弁天さま ～巖島神社

フェリーが鷺泊港に近づくと、ペシ岬のふもとに赤い建物が見えてきます。この建物は、巖島神社（弁天社）の社殿で、海を見守る神として文政年間【1818～1830】以降祀られてきました。

その由緒を物語るものとしては、文政13【1830】年に奉納された石鳥居が残されています。これは当時、漁場の請負人であった藤野家のもと本泊の運上屋で支配人をしていた阿部喜右衛門と住吉丸船頭の清六という人物により寄進されたものです。彼らは、同じ時期に奥の院へ鳥居や常夜燈（石灯ろう）、手洗鉢も奉納しています。これら奉納物は、本州から弁財船で



黄銅製の釣灯ろう

運ばれ、漁場の繁栄や航海安全を祈願するためのものでした。また社殿内部には、かつてリイシリ運上家と透かし彫りされた黄銅製の釣灯ろうがあったといわれています（写真のみで所在不明）。

近隣では、稚内をはじめ枝幸、礼文、留萌、苫前、増毛などに巖島神社が点在しています。各神社の奉納物は、文政以降のものが大半で、漁場請負人の栖原家や藤野家によって漁場が整備されていく時代を象徴しています。



巖島神社は、宗像三女神（市杵島姫命、田心姫命、湍津姫命）を祀る神社で、全国に約500社あるといわれており、その総本社は広島県宮島にあります。宗像三女神とは、福岡県の宗像大社に祀られる神であり、海の神・航海の神として、大和朝廷や源平時代から時の権力者たちによって篤く敬われてきました。中でも市杵島姫命は、明治時代に神仏分離令が出されるまで、仏教の神で水の神である弁財天と同一視されてきたことから、弁天社として漁民や船主など一般庶民の信仰も集めてきました。

ご意見や情報は、教育委員会 山谷（電話 82-1370）までご連絡下さい。



ペイビー トーク

4人の 元気な赤ちゃんを 紹介するよ!



【お詫びと訂正】

平成25年新年号（No.227）掲載の内容で以下のとおり誤りがありました。お詫び申し上げます。

誤：前田^{まえだ} 羽玖^{はく}くん
H23. 4. 23 生

正：前田^{まえだ} 羽玖^{はく}くん
H24. 4. 23 生



こく ぶん なな み
国分七南ちゃん
H24. 9. 10 生
【両親】 隆・さつき
【住所】 栄町1

はじめまして! 七南です。
つぶらな瞳と小さなおちよぼ口の私は、お母さんが大好きです♡最近はお風呂で、お父さんとアヒル隊長と遊ぶのが、すごく楽しいです。私を見かけたら声をかけて下さいね☆
抱っこも大歓迎です♪



すだ
須田ひまりちゃん
H24. 8. 20 生
【両親】 日出海・麻弥
【住所】 栄町2

はじめまして、ひまりです。
落っこちそうなほっぺがチャームポイントの私たちは、日々お兄ちゃんに鍛えられたくましく成長中です^_^;
お転婆娘だけど、みなさんかわいがってね!!



かしわ や ほまれ
柏谷 誉くん
H24. 9. 22 生
【両親】 愛一・亜樹子
【住所】 富士野

姉ちゃんお兄ちゃんに囲まれて毎日とっても賑やか!
どこにいてもお父さんによく似ていると言われるよ。
声も大きいんだ。あたたかくなったらおさんぽに行くので、みなさんよろしくおねがいします。



じん そういちろう
神 蒼一郎くん
H24. 11. 7 生
【両親】 貴彦・和代
【住所】 鬼脇2

初めまして。神 蒼一郎です。
みんなから、蒼ちゃんと呼ばれてます。
最近雪が解けて、散歩に出かけられる機会が増えたので、僕を見たら気軽に話しかけてね。

平成25年度自動車税の 納期限は5月31日(金)です。 納期限までに納めましょう。

- ◎納期限までに納税されない場合は、年14.6%（納期限の翌日から1ヶ月を経過する日までの期間は年4.3%）の割合で延滞金がかかります。
- ◎自動車税は次の場所で納税できます。（町内の金融機関、郵便局・セイコーマート）

【問い合わせ先】 北海道宗谷総合振興局地域政策部税務課納税係
〒097-8558稚内市末広4丁目2-27 電話：0162-33-2520（直通）

インターネットに「フレッツ光」をご利用下さい!

利尻富士町ではブロードバンドゼロ地域解消のため、国の交付金を活用して町内全域に光ファイバー網を整備し、NTT東日本が提供する「フレッツ光」が利用できるようになっております。また、現在NTTではADSLからの乗りかえなど各種割引も行っておりますので、光ファイバー網利用促進のため、この機会にぜひ加入ご検討をお願いします。

詳しくは、フレッツ受付センター【電話：0120-116116】または、役場総務課企画調整係【電話：82-1112】までお問い合わせください。

※最近、光回線契約等の勧誘電話がしつこく掛かってくる等の苦情が寄せられております。要らないものは、きっぱり断り、関心のあるものでも家族や知人に相談するなどして契約は慎重にしましょう。このような話がありましたら、総務課企画調整係へご連絡ください。

戸籍の窓口

◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所
矢上喜久夫	12.10	89歳	本町
東海林正明	12.10	81歳	鬼脇2
石川昇	12.21	93歳	栄町2
小林照子	12.22	89歳	鬼脇1
平元正海	12.26	87歳	鬼脇1
白戸茂	12.27	75歳	富士野
石川スマ	1.3	88歳	秀峰園
木内セツ子	1.15	78歳	鬼脇2
南常雄	1.18	93歳	大磯
阿部冷子	2.3	62歳	栄町2
高柴弘榮	2.12	82歳	大磯
藤原フミエ	2.15	95歳	秀峰園
阿部よつゑ	2.15	91歳	石崎
佐藤政勝	2.15	83歳	鬼脇2
和田よね	2.27	96歳	秀峰園
白川弘	2.27	71歳	富士岬
松谷金一郎	3.14	73歳	湾内
岩木松幸	3.23	83歳	富士野

♡ご結婚おめでとうございます♡

月日	氏名	住所
12.12	大沼 優介	栄町1
	長谷川 莉紗	本泊
1.17	廣田 浩介	栄町1
	石倉 夏美	札幌市
1.23	上田 剛	栄町1
	北山みゆき	本泊
2.22	齊藤 健太	本泊
	平田 萌華	栄町2
3.15	小野寺幸輔	鬼脇1
	柴田亜紀子	栄町1

★お誕生おめでとうございます★

氏名	月日	保護者	続柄	住所
佐々木太良 (たいら)	12.5	翔馬・麻里沙	長男	栄町2
廣澤 心美 (ここみ)	12.25	一徳・恵美	長女	栄町1
川端 晟琉 (せいりゅう)	1.6	剛・千代美	二男	本町
関 萌果 (もえか)	1.7	弘孝・歩	長女	栄町1
小黒羽朱美 (はすみ)	1.31	保幸・直美	長女	栄町1
中田 銀一 (ぎんじ)	2.19	平太・優香	長男	鬼脇1

編集後記

5月になっても肌寒い日が多く利尻山も、まだまだ雪化粧のままですが、これから利尻島は観光・漁業のシーズンを迎え、町が賑やかになる季節になってきましたね。その反面、車に乗る機会やお酒を飲む機会が増えてくる季節でもありますので、これまで以上に交通安全に努め、飲酒運転は絶対にしないようにしましょう!

交通事故死 ゼロ

328日

5月8日現在

デイト運動
飲酒運転撲滅運動実施中

人口のうごき (平成25年4月26日現在)

	男	女	計	世帯
鴛泊	933	1,025	1,958	879
鬼脇	411	451	862	473
合計	1,344	1,476	2,820	1,352
昨年	△17	△12	△29	△3